

【4月18日「チェルノブイリ事故 34 周年の集い」延期のお知らせ】

関西では桜の花が咲き始めましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
例年なら春の到来に心和む頃ですが、今年は新型コロナウイルスの世界的拡大の中、気持ちの晴れない日々が続いています。
感染拡大防止のために必要かつ有効な対応はしっかりしなければと思いつつ、一日も早い終息を願うばかりです。

このような事情の下、「救援関西」として福島やチェルノブイリ被災地の皆さんとも打合せを重ねながら、半年以上かけて計画してきた3月後半の「チェルノブイリ被災地・若者交流訪問」を延期せざるを得なくなりました。そして訪問報告をする予定でご案内差し上げていた、4月18日「チェルノブイリ事故 34 周年の集い」（「救援関西」主催・於：大阪市立総合生涯学習センター）も、検討の結果、延期をさせて頂くことに致しました。

しかし、このような中でも私たちは歩みを止めるわけにはゆきません。
引き続き皆様とともに、チェルノブイリとフクシマを結んで、原発重大事故を繰返させない、事故被害者の人権と補償の確立を、そして「核時代」の終わりの始まりをめざして活動を続けたいと思います。来年「フクシマ 10 年・チェルノブイリ 35 年」の準備も見据え、状況を見極めつつ、改めて「集い」開催時期と内容を決めてご案内差し上げたいと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。
寒暖定まらぬ折り、どうぞご自愛下さいませ。

2020 年 3 月 24 日

チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西事務局